

表1 SPF鶏群の検査及び処置

平成20年3月21日(告示第412号)一部改正

病原体	供試抗原 ¹⁾	検査時期及び検査羽数				検査方法 ²⁾	処置
		第1回		第2回以降			
		時期	羽数(%)	時期	羽数(%)		
ニューカッスル病ウイルス	石井株	8～12週齢	20	3か月毎	10	HI	陽性群及び同居群 ³⁾ 全殺
鶏伝染性気管支炎ウイルス	M-41株	"	"	"	"	ELISA	"
鶏白血病ウイルス	Sub-A,B	"	"	"	"	SN	"
鶏脳脊髄炎ウイルス	Van Roekel株	"	"	"	"	ELISA	"
鶏腎炎ウイルス	G-4260株	"	"	"	"	FA	"
鶏伝染性喉頭気管炎ウイルス	NS-175株	"	"	"	"	ELISA	"
細網内皮症ウイルス	T株	"	"	"	"	FA	"
マレック病ウイルス	JM株	"	"	"	"	FA	"
伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス	J1株	"	"	"	"	ELISA	"
トリレオウイルス	Uchida株	"	"	"	"	DID	"
トリアデノウイルス	Ote株	"	"	"	"	DID	"
EDS 76ウイルス	JPA-1株	"	"	"	"	HI	"
トリインフルエンザウイルス	5331株	"	"	"	"	DID	"
鶏貧血ウイルス	Gifu-1株	"	"	"	"	FA	"
七面鳥鼻気管炎ウイルス	MM-1株	"	"	"	"	FA	"
トリパラミクソウイルス	Yucaipa株	"	"	"	"	HI	"
ヘモフィルス・バラガリナルムA型	221株	"	"	"	"	HI	"
ヘモフィルス・バラガリナルムC型	S1株	"	"	"	"	HI	"
ひな白痢菌	9-25株	"	"	"	"	AGG	"
マイコプラズマ・カリセプチカム	S6株	"	"	"	"	AGG	"
マイコプラズマ・シノピエ	WVU-1853株	"	"	"	"	AGG	"
サルモネラ(ひな白痢菌を除く。)	"	"	"	"	"	菌分離	"
鶏痘ウイルス	"	毎日	100	毎日	100	臨床観察	陽性鶏殺

注 鶏の健康状態、異常な点等については全て記録する。死亡した鶏については病理組織学的検査等を行う。

1) 供試抗原は、他の適切な株を使用してもよい。

2) 同等な検査方法があればその検査法を採用してもよい。検査方法は、その妥当性が検証され、保証された方法で実施すること。HI：赤血球凝集抑制反応 ELISA：免疫酵素抗体法 SN：血清中和試験
FA：蛍光抗体法 DID：二元免疫拡散法 AGG：凝集反応

3) 同居群とは、陽性群と完全に隔離されていない群をいう。